工学基礎　電磁気学　（数理工学社）
正誤表（1 刷）

佐藤　博彦

2026 年 11 月 9 日

ページ	位置	誤	正	備考
p.9	式 (1.17) 1 行目	$\frac{\sigma}{2\varepsilon}\left\{1-\left(1-\frac{d^2}{2R^2}\right)\right\}$	$\frac{\sigma}{2\varepsilon}\left\{1-\left(1-\frac{R^2}{2d^2}\right)\right\}$	
p.66	式 (6.9)	dz	$d\phi$	積分変数に誤りがありました。
p.68	図 6.5			左図の $d\boldsymbol{r}$ の矢印の向きをすべて逆にし，右図の平行四辺形の一辺の $d\boldsymbol{s}$ の矢印の向きを逆にしてください。
p.69	式 (6.15) の下の行	ここで $\boldsymbol{l}-\boldsymbol{r}$ の向きの	ここで $\boldsymbol{r}-\boldsymbol{l}$ の向きの	
p.74	式 (6.29) 第 3 式	$H_z=\frac{3}{4\pi\mu_0}\frac{\lvert\boldsymbol{m}\rvert}{r^3}(2-3\sin^2\theta)$	$H_z=\frac{1}{4\pi\mu_0}\frac{\lvert\boldsymbol{m}\rvert}{r^3}(2-3\sin^2\theta)$	
p.179	式 (13.27) 1 行目	$\frac{1}{4\pi\varepsilon_0}\frac{1}{r^2}\frac{\partial}{\partial r}\left(-Q+\frac{1}{r}\frac{\partial Q}{\partial r}\right)$	$\frac{1}{4\pi\varepsilon_0}\frac{1}{r^2}\frac{\partial}{\partial r}\left(-Q+r\frac{\partial Q}{\partial r}\right)$	
p.180	式 (13.35)	$\phi(\boldsymbol{r})$	$\phi(\boldsymbol{r},t)$	
p.180	式 (13.36)	$\boldsymbol{A}(\boldsymbol{r})$	$\boldsymbol{A}(\boldsymbol{r},t)$	
p.182	式 (13.40) 内	q	q_0	
p.182	式 (13.42) 内 2 箇所	q	q_0	
p.199	3 箇所	共変ベクトル	反変ベクトル	本書ではすべて「共変ベクトル」と「反変ベクトル」の用語の使い方が逆になっていました。(以下同様)
p.200	1 箇所	共変ベクトル	反変ベクトル	
p.201	4 箇所	反変ベクトル	共変ベクトル	
p.201	2 箇所	共変ベクトル	反変ベクトル	
p.203	2 箇所	共変ベクトル	反変ベクトル	
p.205	2 箇所	反変ベクトル	共変ベクトル	
p.205	2 箇所	共変ベクトル	反変ベクトル	
p.206	1 箇所	反変ベクトル	共変ベクトル	
p.207	1 箇所	共変ベクトル	反変ベクトル	
p.207	1 箇所	反変ベクトル	共変ベクトル	